

10年12月9日(木)

株式会社リクルート・旅行カンパニー
エイビーロード・リサーチ・センター

エイビーロード AB-ROAD 10-11年の年末年始期間海外ツアー問合せ概況

**年末年始の海外旅行、羽田線就航都市が上位に。
問合せシェア伸び率では、ホーチミン、ドバイが好調。
ツアー日程は、5.4日と昨年より微減。**

株式会社リクルート(本社:東京都千代田区 代表取締役社長 兼 CEO: 柏木 齊)の旅行カンパニーに設置されたエイビーロード・リサーチ・センター(センター長・稲垣昌宏)は、同社が運営する海外旅行検索・比較サイト『エイビーロード』(<http://www.ab-road.net/>)における、海外ツアーに対するユーザーからの eメールでの問合せの実績を集計し、2010年から2011年の年末年始海外旅行マーケットの動向を、以下の通り発表いたします。

<骨子要約>

1. 年末年始期間(10年12月23日出発～11年1月3日出発)の人気渡航先
→羽田新就航のソウル、オアフ島(ハワイ)、台北がTOP3で、
いずれも昨年同期比(09年12月19日～10年1月3日)でポイント(占有シェア)もアップ。
昨年同期比で、問合せのシェアが上昇した渡航先は、
ホーチミン(ベトナム)、ドバイ、フィジーなど。
2. 年末年始期間(10年12月23日出発～11年1月3日出発)の平均渡航期間、
出発日、帰国日のピーク
→5日間ツアーが一番人気。
平均ツアー日数は、平均5.4日と、昨年同期比で微減。
→出発日ピークは12月29日、帰国日ピークは1月3日。

【本件に関するお問合せ先】

https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

1. 年末年始期間の人気渡航先

年末年始期間(2010年12月23日出発～2011年1月3日出発)で、『エイビーロード』における人気の海外旅行渡航先を見ると、ソウル、オアフ島(ハワイ)、台北の順で、TOP3は昨年と変動がなかった(注:2010年11月10日までの参加問合せ数を集計しているため、2010年11月23日の韓国大延坪島砲撃問題の影響は反映されていない)。羽田新ターミナルから就航した渡航先では、ソウル、オアフ島(ハワイ)、台北、バリ島(シンガポール乗継)、香港、プーケット島(バンコク乗継)などがシェアや順位を上げ、バンコク、パリはシェア・順位ともに落とした。羽田発ツアー全体へのエイビーロードにおける問合せは2010年11月では昨年同期比400%となっており、好調な渡航先には“羽田効果”が見てとれる。一方、パリ以外の遠距離の旅行先はTOP10にランクインせず、全体的に、カレンダーの日並びの悪さを反映して近距離の渡航先が大半を占めた。また、『エイビーロード』での09-10年の年末年始の渡航先ごとの問合せシェアと比較すると、ホーチミン(ベトナム)において、最も上昇率が高く、次にドバイ、フィジーが続いた。

■データ1: 年末年始 問合せシェアの大きい渡航先TOP10 (10-11年/09-10年)

順位	10-11年問合せ渡航先	問合せシェア	順位	09-10年問合せ渡航先	問合せシェア
1	ソウル	9.2%	1	ソウル	7.6%
2	オアフ島(ハワイ)	8.7%	2	オアフ島(ハワイ)	7.1%
3	台北	6.7%	3	台北	6.0%
4	バリ島(インドネシア)	5.1%	4	バンコク	5.6%
5	香港	4.6%	5	パリ	4.5%
6	セブ島(フィリピン)	3.8%	6	香港	4.0%
7	バンコク	3.3%	7	グアム	3.9%
8	パリ	3.2%	8	セブ島(フィリピン)	3.7%
9	シェムリアプ(カンボジア)	2.6%	9	バリ島(インドネシア)	2.8%
10	プーケット島(タイ)	2.3%		バルセロナ	2.8%

※1 エイビーロードにおける掲載ツアーへのeメールでの問合せ件数のうち、10年12月23日(祝木)出発～11年1月3日(月)出発、09年12月19日(土)出発～10年1月3日(日)出発が指定された件数を集計し、問合せシェアを算出した。集計期間は、09年・10年とも各7月1日～11月10日(以下、データ2～4も同様)。

※2 10-11年問合せ渡航先の黄色網掛け部分は、現在羽田から直行便が就航している渡航先。

■データ2: 年末年始 問合せシェアが伸びた渡航先TOP10 (09-10年→10-11年)

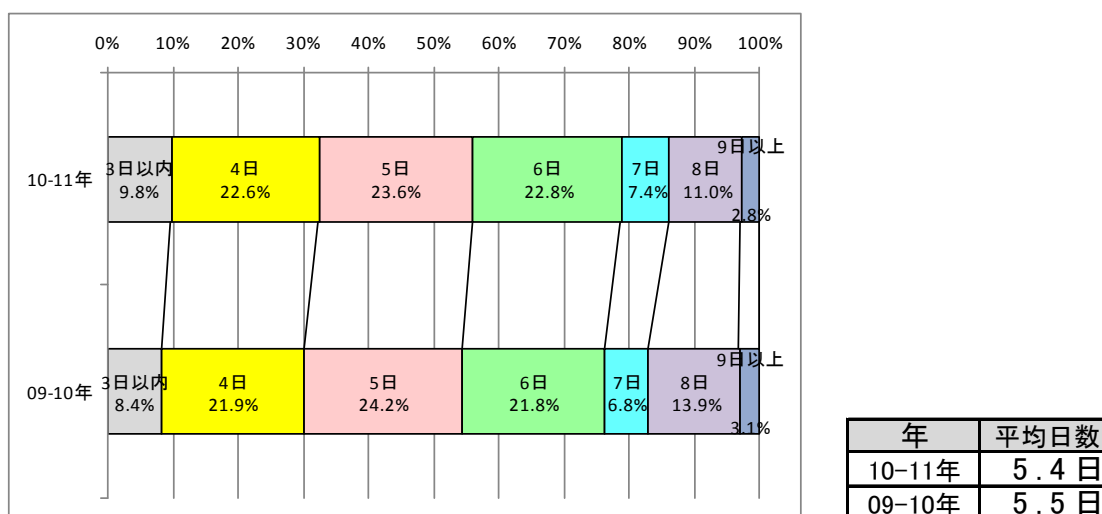
順位	問合せ渡航先	昨年同期比シェア上昇率
1	ホーチミン(ベトナム)	215.1%
2	ドバイ	198.4%
3	フィジー	186.3%
4	モルディブ	184.4%
5	バリ島(インドネシア)	183.8%
6	デリー(インド)	181.9%
7	マルタ島(マルタ共和国)	176.5%
8	イスタンブール(トルコ)	167.0%
9	シェムリアプ(カンボジア)	126.5%
10	ニューカレドニア	124.6%

※3 09-10年の年末年始と10-11年の年末年始を比較して、問合せシェアの上昇率が大きかった上位10渡航先を列挙した。ランキングの対象は、09-10年の年末年始、10-11年の年末年始、両方において問合せがあり、かつ、09-10年の年末年始において、シェアが0.4%以上あった上位56渡航先。

2. 年末年始期間の渡航期間、出発日、帰国日のピーク

『エイビーロード』で問合せのあったツアー日程に関しては、今年(2010年12月23日出発～2011年1月3日出発)は、平均5.4日となり、昨年(2009年12月19日出発～2010年1月3日出発)から微減となった。日程別の問合せシェアは、昨年同様、5日間が最も多く23.6%を占めた。希望の出発日と帰国日については、出発日は2010年12月29日の16.6%、帰国日は2011年1月3日の15.2%が最多であった。出発日の集中に比べると帰国日は分散化の傾向にありそうだ。

■データ3: 10-11/09-10 年末年始 ツアー日程別問合せシェア/平均日程



■データ4: 10-11年の年末年始 希望出発日と希望帰国日TOP5

順位	希望した出発日	出発日問合せシェア	順位	希望した帰国日	帰国日問合せシェア
1	10年/12/29	16.6%	1	11年/1/3	15.2%
2	10年/12/30	12.7%	2	11年/1/4	12.7%
3	10年/12/28	9.5%	3	11年/1/2	11.9%
4	10年/12/31	9.3%	4	11年/1/5	11.2%
5	10年/12/25	8.4%	5	11年/1/1	10.3%

＜総評＞ 『エイビーロード』においてツアーへの参加問合せでは羽田新ターミナルから就航の渡航先がシェアや順位を上げるケースが多く見られた。また、ツアー日程は、平均日数が5.4日と昨年より微減。渡航先、ツアー日程などを概観すると、全体として、安・近・短の渡航先が人気の傾向であった。年始の2011年1月3日が月曜日となっており、カレンダー並びで年末年始の休暇が長く取れない傾向にあることが影響していそうだ。また、エイビーロードでの09-10年の年末年始の問合せシェアと比較すると、ホーチミンが最も上昇率が高く、次にドバイが続いた。ホーチミン、ドバイの問合せシェアが上昇した背景には、ベトナム航空・エミレーツ航空の成田線の増便と就航(2010年夏スケジュールより)による座席供給の増加が、昨年比で年末年始時期のツアー設定及び募集の増加につながり、ユーザーの問合せも活性化したと考えられる。